SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名(株式会社ホンダさつま)

											主なら	DGs (17のゴー	160 طريال	のターゲ	·ット) 目			寸 1□ (17			
					具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
分类	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	(※事業者が記載する欄)	1 886 /N/1947	2 mm t	3 SKTOAK -W	4 Rodume	5 %225-TBE	6 PRANCESON	7 ERRE-BARE	8 =====	9 RELEGISEO	10 AMEGINE (10 AMEGINE)	11 eaensas associae	12 ocenii 000000	13 AKTU:	14 monoce	15 #0#### ###############################		17 denty-syste
	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	•		経営理念の掲示を行ない、従業員の目に留まるよう掲示。経営理念 に基づいた組織の運営、仕組み、お客様サービスを忘れないよう毎 月唱和を行っている。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕 組みを構築している。	•		法改正 (アルコールチェック、ハラスメントの禁止) 等のコンプライアンスついて、活性化委員等内部管理体制の構築を行いながら、 社長自らメッセージの発信を行っている。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署な どの体制を整備している。	•		CSR担当を選任しており、CSR方針の策定を通じ社会・環境に及ぼす 影響の把握に努めている。																16	
組織体制	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー (※) との対話により、自社の活動がステーク ホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。 (※利害関 係者:消費者、投資家等及び社会全体)	•		消費者向けCSアンケートの実施により、サービス向上に向けた取組 を通じ、日常業務やサービスの改善を図っている。																16	17
	5	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、 責任を持った対応に取り組んでいる。		•	CSR担当による社会貢献活動や、健康経営の推進をしており、SDGs を会社理念に掲げることでCSR取組を強力に推進している。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		•	BCPの策定を行っており、当該内容に基づいた訓練、自然災害の備えを準備している。									9		11		13. 1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		•	【予定】今後、事業承継発生の際には、金融機関やパートナーの助 力を得ながらスムーズにかつ円滑に行う準備をしていく。								8	9								17
	8	【贈収賄の禁止、公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ、社 員に周知している	•		不正競争の禁止、汚職・贈収賄の禁止(不正な金品のやりとり)を 行わないよう就業規則に明記し、1年に1度必ず全従業員に周知して いる。										10						16. 5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	•		知的財産の保護を社内規則で明記し、従業員に周知徹底している。								8. 2 8. 3	9								
公正な取引	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	•		個人情報の管理は重要な顧客情報であり、自動車販売業として不正 利用が起こらないよう社内教育及び施錠の徹底をしており、サイ バー攻撃などに対する備えも行っている。																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		•	【予定】SDGs宣言を通じ、サプライチェーンを担うディーラーとして仕入先やと取引先に自社のSDGs宣言を展開し、広く遵守の要請を行っていく。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		•	メーカーとしてのホンダからの部品調達であり、フェアトレード商 品の活用には、ホンダグループとして取り組んでいる。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	•		就業規則等で差別の禁止、ハラスメントを防ぐ体制が出来ており、 活性化委員を利用したハラスメントの兆候管理など行っている。				4. 3 4. 4 4. 5	5. 1 5. 2 5. 5			8. 5 8. 7 8. 8		10. 2 10. 3						16. 1 16. 2 16. 7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	•		労務管理システム導入や、店長会議での長時間労働の防止を行い、 1日のタイムスケジュールの管理等働き方の見直しを行っている。			3		5. 5			8. 5 8. 8		10. 3							
人権・労働	7 8 8 9 公正な取引 11 12 12 13 14 人権・労動	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取 り組んでいる。	•		労働安全の遵守に十分配慮をし、メンタルヘルス対策を産業医を通 じて行っており、安全で衛生的な労働環境を構築している。			3					8.8									
1367	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	•		女性活躍のロールモデルの検討を開始し、最長67歳の雇用の確保を 行い、ベトナムからの外国人技能実習生の受け入れを通じ、多様な 人材が活き活きと働ける体制を整備している。				4. 4	5. 1 5. 5			8. 5		10. 2 10. 3						16. 7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	•		営業、サービス部門や役職、年次に応じた社外・社内研修の積極的 な参加を促しており、人材の育成やサービスの向上に努めている。				4	5. 5			8	9								

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名(株式会社ホンダさつま)

						主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)関連項目																
分類		チェック 百日	#+	#.(15.5°	 	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
分類	NO	チェック項目	基本	チャレンジ	(※事業者が記載する欄)	1 88 Ávětst	2 mme cont	3 #4TOAK	4 MODULERS	5 %=>d-TBE	6 REGRETAL	7 this-east	8 ####	9 ###57(6)	10 APROSTS (\$\frac{1}{4}\$)	11 Septions	12 7468 E	13 ARENI:	14 #8800E	15 BORDES	16 PRINTE	17 despendant
	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず, 同一労働同一賃金等の原則に沿って対応し ている。	•		同一労働同一賃金の原則に則り、正規雇用、非正規雇用での役割や 責務に明確な基準を設けて遵守している。	11774			*	5. 5	¥	**************************************	8. 5	S	10. 2 10. 3		33		70	=	-4	
人権	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の 向上等に取り組んでいる。	•		健康診断の実施及びフォローの実施をしており、従業員の健康状況 に配慮した職場つくりを行うことで、生産性向上を図っている。			3					8									
労働		【DXの推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化等のDXの推進により業務の 効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		•	【予定】自動運転や、EVシフト等のメーカーからのICT技術の導入 に対応し、ビジネスモデルのシフトに遅れないよう社内のDX化を推 進している。								8	9. 1		11	12					
	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 (例) 鹿児島県女性活躍推進宣言企業, かごしま子育て応援企業, かごしま「働き方改革」推進企業		•	【予定】今後、かごしま「働き方改革」推進企業の導入を検討。			3	4	5			8		10							
	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に 取り組んでいる。	•		廃棄物の管理等一括で専門業者に委託をしており、水銀灯等の有害 化学物質削減を目的としたLED化を進めている。 また、厳しい自主監査を通じた管理・処理を実行している。			3. 9			6. 3					11. 6	12. 3 12. 4 12. 5		14. 1	15. 1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	•		電力、ガソリンの年間使用量の把握を行い、前年度比と将来に渡る 節電・脱エネルギー目標を掲げ、使用量の消費を抑えるべく全社で 取り組んでいる。							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んで いる。	•		CO2削減に資する車両の販売を通じたカーボンニュートラルの推進 をしている。		2. 4					7. 2 7. 3 7. a					12. 4	13	14	15		
	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる (グリーン購入、かごしま認定リサイクル製品等)。	•		製品サービスは、ホンダメーカーとの協業を通じて実践しており、 販売店として環境配慮型の車種の販売の推進を通じた環境取組を 行っている。									9. 4			12. 4 12. 5	13	14	15		
	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮し ている。	•		【予定】環境基本方針の策定を行っており、生態系の維持、生物多様性の保全等を活動方針に取り入れ、植林や海の保全に積極的に取り組んでいる。						6. 6								14	15		
	27	【3 Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リ デュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り 組んでいる。	•		DX取組を通じ紙の使用量を削減し、裏紙使用、リサイクルという循環の流れを作っている。ペットボトルは分別をしており、事業ゴミのリサイクルを行うホンダグループの会社にて一括処理を行っている。						6. 3			9. 4		11.6	12. 2 12. 4 12. 5	13	14. 1	15		
環境	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている。		•	【予定】水の使用量の把握及び節水を心がけ、PDCAサイクルで管理出来ている。 ボディコーティングの推進により、ユーザーの水使用量を減らす取組を 行っている。		2. 4				6. 1 6. 3 6. 4 6. 6 6. b					11.5			14. 1 14. 2 14. 3	15		17
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		•	【予定】子供食堂への寄付等社会的な貢献を通じたフードロス改善 を目指している。	1	2				6. 4						12. 3		14	15		17
	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001, エコアクション21または同等の環境マネジメント規格 を取得している。		•	【予定】環境基本方針に基づき、PDCAに基づいた環境マネジメントシステムに準拠したシステムを有し、定期的に把握、改善を目指した取り組みを行なう。			3. 9			6	7					12	13. 3	14	15		
	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		•	ホームページ上で環境取組について発信し、各取組について分かり やすく参加しやすい組織づくりを行っている。												12. 6					
	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エ ネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		•	工場の屋根に太陽光発電を設置し、屋根貸しによるクリーンエネル ギーの供給を行っている。							7. 1 7. 2 7. 3 7. a		9. 4				13. 1 13. 3				
	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		•	【予定】天然資源の利用に関して、認証製品の利用を進め、FSC認証の紙やレインフォレストマークのコーヒーを推進している。												12. 2	13	14	15		
	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等、持続的な森林利用への取組を推進している。		•	HVや電気自動車の普及を通じ、排気ガスや温室効果ガスの削減に取 組、森林資源に悪影響が出ないよう配慮している。						6. 1 6. 3 6. 6			9. 4		11.3 11.4 11.5	12. 2	13		15		

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに、チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・これから取り組む項目については、取組内容の記載の前に、【予定】と記載し、これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名(株式会社ホンダさつま)

											主なS	DGs (17のゴー	ルと169	のターゲ	ット)関	連項目					
分类	順 N O	ー フレー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基本	チャレンジ	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	Į NO	7-77-84	Œ/ -	7 (22)	(※事業者が記載する欄)	î sas Îvêtat	2 ###	3 serent	4 stee	5 MARIA (1)	6 egacher	T EUCH-SK	8 #####	9 RECOGN	10 APROPTE	11 serves		13 PREBIT	14 ###**** ********** *****************	15 Respect	16 FERRE	17 ************************************
環境		【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や,海洋汚染の防止に 貢献している。		•	クリーンビーチを通じたウミガメの保全活動や、プラスチックゴミ の削減に積極的に取組、海洋汚染の防止を心がけている。												12. 2 12. 5		14			
	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		•	環境性能の高い車を提案する販売店としての役割を果たし、クリー ンな自動車の利用を進めている。									9. 4		11. 2		13. 1 13. 3				
製品	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	•		お客様の声を真摯に受け止め、販売プロセス、サービスプロセスに おける業務改善に取り組み、常に安全で信頼のおける仕組みを担保 している。			3. 9						9			12. 4					
# H E	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	•		店舗のバリアフリーや、DX・タブレットを活用したお客様向けの分かりやすい説明を心がけ、誰もが利用しやすい仕組みを作っている。									9. 1	10	11. 7						17
٦	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組 んでいる。		•	地域住民の交通と、生活を支える重要な社会インフラとしての自動 車販売を通じ、様々な社会的な問題の解決を行う活動を行ってい る。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	•		【予定】子ども食堂への寄付や、クリーンビーチ、交通遺児への寄付等、自社の事業・地域に関わりのあること、ないことを問わず社 会貢献に積極的に取り組んでいく。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用(地産地消等)している。		•	販売促進品(ご成約プレゼント等)に積極的に地元商品の選定を 行っている。		2. 3 2. 4					7.3	8	9		11. a	12. 3	13	14	15		17
社		【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、出前講座の実施など、地域の児童や学生に対し、学びの場を提供している。		•	インターンの積極的な受け入れ、職場体験を通じ、県内就職のきっかけを作り、若者の雇用促進をしている。				4				8. 6		10. 2							17
会・地域質	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		•	上記取り組みから、県内の雇用の確保を行っており、従業員が働き やすい職場つくりを行っている。				4. 4				8. 5 8. 6									17
南		【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光(サステナブルツーリズム)の実現に寄与する取 組を実施している。		•	車両の活用による観光への寄与を行っている。								8	9		11	12		14	15		17
	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域(離島や中山間地域等)の振興に寄与する取組を実施している。		•	【予定】過疎地域や交通手段の確保が出来ていない地域に、モビリティの力を借りて、地域社会の安全と安心を届けるサービスの展開を行いたい。		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や、関係人口(※)の創出・拡大に寄与する取組を実施している。(※移住した「定住人口」や、観光に来た「交流人口」ではない、地域や地域の人々と多様に関わる人々)		•	県外での会議・イベントの際に、県内誘致・PRを行っている。 年一回の全社員大会の際に、より多くの県外取引先を招待してい る。								8			11	12			15		17